

平成26年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
1	<p>総合学科の柔軟な学びのシステムを活用した多用な教育活動を展開する。</p> <p>・より一層効果的なガイダンスを実施する。</p> <p>・生徒の実態やニーズに即した教育課程を編成する。</p> <p>・系列科目の充実・発展を図る。</p> <p>・学校外の学修の一層の参加を促す。</p>	<p>・わかりやすいガイダンスの実施ができたか。</p> <p>・生徒の学びの幅と深さを保障する教育課程編成ができたか。</p> <p>・生徒による授業評価で、生徒の満足度が高いか。</p> <p>・学校外の学修への参加が増加したか。</p>	<p>・未来探索、放課後等を活用し、科目選択や進路実現に向けての計画的なガイダンス、相談活動を実施した。</p> <p>・H27年度科目選択に向けて、科目の整理と新入生の教育課程について改善を実施した。</p> <p>・校時割に改善を加えるとともに、バランスある科目選択、学び直し推進等を柱とする12期生以降の教育課程を新たに編成した。</p> <p>・生徒による授業評価では、全体として満足度は高い結果となった。特に体験的な授業が多い系列科目では生徒の満足度は高い。</p> <p>・インターンシップに45名、仕事のまなび場に26名、校外でのボランティア活動に延べ45名が参加した。いずれも昨年度に比べ大幅に増加した。</p> <p>・夏季連携講座では68名の参加があった。昨年度の51名から増加し、受講態度についても向上し、意欲的であった。</p> <p>・教科学校外活動の科目[校外講座]等としてのべ188名単位認定を行った。</p>	<p>・次年度より2年次の未来探索が実質2単位となることで、1年次と3年次をつなぐガイダンス機能のより一層の充実を図っていく。</p> <p>・H27年度入学生の教育課程及び時間割編成には課題があり、課題を整理し改善方法を検討していく。</p> <p>・50分授業の効果的な展開、学び直しの取組等を組織的に推進していく。</p> <p>・生徒による授業評価の満足度の高いは少ない生徒もおり、それらの生徒にも満足できるような結果となるよう取り組んでいく。</p> <p>・生徒が興味関心を持ち、理解を深められるよう今後も授業内容の更なる充実を図る。</p> <p>・引き続き学校外の学修への参加を積極的に働きかけるとともに、欠席・遅刻への対応など参加生徒の意識を高める取組を進めたい。</p> <p>・会場までの道に迷って遅刻する生徒が見られたので、事前指導の際に、事前に場所を確認するようにさせたい。</p> <p>・教科学校外活動の科目数、参加生徒数のさらなる増加を検討していく。</p>	<p>(学校評議員会)</p> <p>・学校の課題が見えていて、より良い方向に向かっている。良いことだ。まずは落ち着いた学習環境を整え、次の課題である学習へとシフトしている。</p> <p>・未来探索Iの発表を見させてもらったが、実社会で必要なことを様々な体験で考え、そしてそれをまとめて発表していた。良い取り組みである。</p>	<p>・今年度も、総合学科として、多様な学びを生徒に提供し、学ぶ達成感を高め、日々の学習活動を通して、キャリア能力の伸長をはかってきた。</p> <p>・インターンシップ、校外講座など夏の学びである学校外の学修への参加、単位修得者が今年度も順調に増加し、総合学科の多様な学びの幅を広げることになった。</p> <p>・多様な体験的な学習によって、生徒の各種学習成果発表も厚みを増し、生徒の達成感を得ている。</p> <p>・次年度から、50分6限授業の導入を決め、その移行に向けて、時間割を大幅に見直した。次年度、スムーズに移行することができるか課題となっている。</p> <p>・学校外の学修における生徒の視野を広め体験的な学習の機会を拡充することができた。</p> <p>・生徒が参加した事業所や関係機関での生徒の挨拶、マナーの向上が見られ、社会における公共心の育成に役立った。</p>
2	<p>基本的な生活習慣の確立を図り、自立・自律した生徒を育成する。</p> <p>・生徒会活動のより一層の活性化を図る。</p> <p>・適切な服装や髪型で授業</p>	<p>・生徒の主体的な参加が増えたか。</p> <p>・生徒のマナーアップが見ら</p>	<p>・体育祭においては、招集が順調に行われたため予定時間内で進行することができ、球技大会においては、不戦勝敗試合が減った。これらは、生徒個々の参加意識が向上したためと思われる。</p> <p>・文化祭実行委員会で構想してきたチケット制限公開を初実施し、概ね成功を収めた。</p> <p>・委員会活動については、参加率も高く活動内容も充実している委員会も複数みられるようになった。</p> <p>・部活動入部率がさらに5ポイント上昇した。</p> <p>・委員会活動においても概ね活動の活性化がはかれた。</p> <p>・学校説明会で広報委員会生徒による司会を3回(昨年1回)、生徒によるプレゼンを2回(昨年1回)行い、好評だった。「鶴総NEWS」は3回、発行した。</p> <p>・学級委員によるあいさつ運動を年2回実施。生徒総会運営や文化祭受付など様々な活動を行った。</p> <p>・授業不要物の指導件数は、平成26年度は</p>	<p>・体育祭において、より生徒主体の行事運営を目指すべく、生徒会役員の参画など、具体策を講ずる必要がある。</p> <p>・翔麗祭においては、入場者の増加・クラス増により、中庭の混雑および昼食の確保困難が生じている。中庭食品団体の増設、またそれに伴うステージ団体の配置替えを検討する必要がある。</p> <p>・部活動は、年度当初こそ入部率が上がったが、継続性に課題を残している。全般的な活性化は難しいとすれば、顕著な活動をしている部活動を援助育成していくなど、工夫が必要であろう。</p> <p>・委員会活動にばらつきがあり、参加率向上への一層の工夫が必要である。</p> <p>・広報委員会の活動をさらに活発にし、学校説明会等での生徒の活動を充実させていく必要がある。</p> <p>・学級の中でリーダーとなり活動できるような意識付けを行う。</p> <p>・今年度で4年、授業不要物による特別</p>	<p>(学校評議員会)</p> <p>・和太鼓部の定例演奏会を見学したが、公演時間が短く感じられた。とても良い演奏だった。</p> <p>・身だしなみの指導は、成果が出ているのは、生徒の心の指導ができていからだと思う。</p> <p>・入部率の上昇をはかってほしい。</p> <p>・学校の広報は、生徒が説明すると、中学生にとっては分かりやすい。また、それが中学生にとって学校選びのポイントになっている。また、広報での生徒の説明等は生徒の活躍の場を広げることにもなる。</p> <p>・会う生徒は、挨拶を元気よく返してくれる。日頃の指導の成果が表れている。</p> <p>・インターアト同好会へのロータリークラブの支援に関して、年度替わりの教員の異動、教員の多忙が連絡面で課題になっている。</p> <p>・成功体験の積み重ねが重要。各種の発表会は効果的である。</p> <p>・鶴見総合の生徒はよく挨拶ができる。募金に応じてくれた生徒もいた。穏やかな生徒が多いというのが印象</p>	<p>・体育祭、文化祭では、生徒の主体的な参加が増え、より活性化することができた。クラスや学校としての一体感もより増してきている。今後はそれぞれの運営により生徒を参加させることに挑戦していきたい。</p> <p>・文化祭では、公立高校では他に例を見ない、制限入場制を導入した。生徒の安全面を考えた取り組みであったが、大きなトラブルはなく、スムーズな移行ができた。また、チケット制の導入は、かえって生徒が直接、チケットを手渡しをすることで広報に役立ち、入場者数の大幅増をもたらした。その面でも活性化した。</p> <p>・部活動では、入部率の増加によって、県からドリーム大賞チャレンジ賞を受賞することになったが、退部者等が多く、実際の活動面では、運動部を中心に活動が活性化したとは言いがたい。しかし、その中で、陶芸部、演劇部、和太鼓部では顕著な実績を残すことができた。</p> <p>・学校説明会で、広報委員会や学習成果発表で生徒が活躍する場面が増え、中学生やその保護者からは好評を得た。今後も生徒の主体的な参</p>

		<p>を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に落ち着いた環境で迎えるようにする。</li> <li>・保健行事等を通して、心身の健やかな成長を支援する。</li> </ul>	<p>れたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の読書への参加率が上がったか。</li> <li>・保健講話等に生徒は真摯に取り組めたか。</li> </ul>	<p>87件(携帯61・飲食6・音楽3・ゲーム6・化粧4・手帳7)。平成25年度は106件(携帯83・飲食4・音楽1・ゲーム3・化粧1・手帳14)。平成24年度は250件(携帯178・飲食31・音楽3・ゲーム2・化粧9・手帳27)。平成23年度は282件(携帯223・飲食19・音楽14・ゲーム7・化粧8・手帳11)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪指導の指導件数は、平成26年度は158件。平成25年度は302件。</li> <li>・朝の読書の出席率は、1年次84.7%(前年比0.8%増)、2年次69.7%(前年比2.5%減)であった。</li> <li>・薬物乱用防止・喫煙防止・デートDV防止(1年)性感染症予防(2年)性教育(1・3年)の講座を実施、終了後アンケートをまとめた。</li> <li>・9月に性教育講座を実施、70%の生徒がこれから考えて行動すると回答、10月にデートDV防止のワークショップに取り組んだ。</li> <li>・横浜国大の講師による講義と感染の広がり体験学習を実施した。93%の生徒が今後の生活に役に立ったと回答。</li> <li>・9月に各クラスで性教育講座を実施、ワークシートに記入することで、感染症の知識について確認するとともに、生涯プランの中での妊娠について、生徒一人一人が真剣に考えることができた。</li> </ul>	<p>指導を実施してきたが、毎年着実に減少している。来年度は形骸化に注意しながら、さらに生徒の理解と認識を向上させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から教員各自にカーズケールを渡し、全身体制の指導を実施した結果、効果があがっている。</li> <li>・次年度から朝の読書廃止になるが、引き続き落ち着いた雰囲気の中で授業を迎える環境を整備するとともに、新たな遅刻指導を実施する。</li> <li>・人間関係の躓きを抱える生徒が見受けられるので、コミュニケーション能力向上に関する取り組みの検討を考えたい。</li> <li>・問題意識をさらに高めるために、ワークシートの記入の後、討議などをすることが今後、考えられる。</li> </ul>	<p>である。</p> <p>(PTA)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭では、外来者に対しておもてなしをしようとする態度がよく表れていた。これまでにない良い雰囲気だった。</li> </ul>	<p>加を増やしていこうと考えている。その他の委員会でも、昨年度より活動内容の充実をはかることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間をかけて、授業に落ち着いて取り組む学習環境づくりを行ってきた。その成果は、はっきりと表れてきた。また、制服・頭髪指導は生徒の協力もあり、定着してきている。近隣からの見方も好意的なものに変わってきている。今後も引き続き、指導を継続していく。</li> <li>・次年度は、朝の読書はなくなるが、教科指導や未来探索での学習活動のなかで、引き続いて読書指導を行っていく。</li> <li>・保健講話は、どれも効果的な講話で、現代の社会においてどれも欠かせない指導内容であった。生徒の振り返りアンケートでも役に立ったとする生徒が多く、今後も生徒の健全育成に欠かせない行事として、継続していく。</li> </ul>
3	<p>基礎学力の向上及び、個に応じた学習意欲・知識・技能の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本的な知識・技能の定着を図る。</li> </ul> <p>・補習講習を行い、個々の生徒に合わせた学力支援を行う。</p> <p>・学事システムの円滑な運営を図る。</p> <p>・きれいで落ち着いた学習環境を維持する。</p>	<p>・授業や定期テスト等で基礎力定着を検証する。</p> <p>・補習講習の開講数、参加生徒数は増えたか。</p> <p>・学事システムを効果的に運用できたか。</p> <p>・清掃を通して、衛生的な環境を維持できたか。</p>	<p>・今年度の授業改善に基づき11月に研究授業・研究協議を行った。</p> <p>・基礎力を定着させるための学習内容について、教科内で意見の共有を図った。</p> <p>・体づくりの運動を各時間取り入れ、基礎体力の向上を図った。</p> <p>・実習を中心に、情報活用能力の定着を図った</p> <p>・知識に基づいた体験学習を充実させた。</p> <p>・教科の特性を活かし、小テストの実施など基礎基本の定着を図った。</p> <p>・鶴総みらい塾を実施した。17講座で生徒82名が参加した。</p> <p>・授業外での生徒個別の学力支援をおこなった。</p> <p>・多様な進路や必要性に応じて、補習・補講等を行った。</p> <p>・すくーるねっとの運用に関しては、超過欠席者一覧表を定期的に年次ごとに配布し、成績処理については数値をそのまま利用できるような資料の作成を行った。</p> <p>・日々の清掃活動を通じて学校全体の美化を推進し、落ち着いた学習環境を維持することができた。</p> <p>・担任、年次担当とともに衛生的な環境作りができた。</p> <p>・必修授業のある月木の昼休みに当番による清掃を確実に実施した。</p> <p>・長期休業中に床、窓、廊下、壁など普段できない清掃を実施した。</p>	<p>・生徒による授業評価の結果を踏まえてより生徒に届くような授業改善に取り組んでいく。</p> <p>・家庭学習も含め、基礎力定着のための課題について改善を図る。</p> <p>・「健康・体力づくり推進」に基づき、更なる基礎体力の向上を目指す。</p> <p>・社会のニーズに合った内容になるように改善を図っていく</p> <p>・更なる定着を図るための、課題の整理を行う。</p> <p>・継続的な指導を今後も行う。</p> <p>・鶴総みらい塾の講座について、より生徒が参加しやすくなるよう講座や開講のスケジュールを検討する。</p> <p>・生徒の進路希望、学習ニーズに合わせた補習を計画する。</p> <p>・日常の効果的な指導も引き続き探究する。</p> <p>・卒業判定に向けての成績処理の検討を継続して行う。</p> <p>・学務上の書式等について、教員間の周知徹底として、マニュアル整理は継続検討。</p> <p>・生徒の環境保全の意識をさらに高める工夫の必要性を感じた。</p> <p>・全員がそろえることが難しくなる3年次での、清掃の仕方の工夫が必要である。</p> <p>・常に清潔で整頓された教室で授業を受けることができた。</p> <p>・自主的に清掃活動を行えるような意識を身に付ける指導方法の確立が課題として残る。</p>	<p>(学校評議員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校門周辺のお花がきれい。こういう環境だから生徒に落ち着きがでる。見ているととても幸せな気持ちになる。できれば、生徒も参加させたい。</li> <li>・PTAが、とてもまとまりがあって、元気に活動している。すばらしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年次、国語・数学・英語の3科目において、教材を統一して使用して学び直しを組織的に実施した。理解していなかったところを改めて確認できるといった効果があった。生徒も学び直しについてはその意義を認める意見が多かった。次年度は、学び直しを継続して取り組むが、使用教材については、生徒の学習状況を適切にとらえて、学びを深める教材を提供していく。</li> <li>・多くの科目で、小テストやシートを提出させ、家庭学習の定着をねらいとした取組みが行われていた。しかし、依然として家庭学習の時間が少なく、定期テスト前の取組みが極端に少ない生徒も一定数いることが、引き続き課題となっている。</li> <li>・夏季の補習・講習の講座数を増やしたが、参加生徒が少ない。部活や夏季連携講座、アルバイトとの日程の問題もあるが、モチベーションアップをはかり、ニーズにより合ったものにするなど一層の工夫が必要である。</li> <li>・PTAと部活動生徒とともに行う校内ペンキ塗りを継続的に実施し、中学校関係者、保護者が来校した時に、明るい雰囲気環境であるとの評価が得られた。クリーンな教育環境の維持に努めていく。</li> </ul>	

4	<p>キャリア教育を充実させることにより一人ひとりの進路実現を図る。</p>	<p>・未来探索を中核とするキャリア教育をより一層推進する。</p> <p>・進路実現に向けて、個別指導を組織的に行う。</p>	<p>・発表会を通して、生徒が学習成果を実感し、共有化できたか。</p> <p>・進路先決定者の率の増加が見られたか。</p>	<p>・未来探索を中心とする「キャリア教育実践プログラム」に基づく取組を積極的に推進した。</p> <p>・1年次ではジョブシャドウイング発表会・未来探索発表会、2年次では夏活動発表会などを実施した。3年次の課題研究ではグループ別、全体での発表会を行った。</p> <p>・研修旅行に向けての準備、研究ができた。</p> <p>・課題研究に向けての準備ができた。</p> <p>・課題研究の中間発表、本発表を、資料を例示しながらほぼ全員が行うことができ学習成果を実感することができたと同時に、他の生徒の発表を聞くことで、成果の共有ができた。</p> <p>・3年次を中心に組織的な進路面談・面接指導等に取り組んだ。進路決定者の内訳は、大学・短大 58 名、専門学校・各種学校 77 名、大学校・技術校 6 名、就職 38 名で、未定者は 45 名となっている。</p> <p>・キャリア支援グループと協力しながら計画的に個々の生徒の実情に合致した指導を重ねることができた。その結果、就職に関しては、着実に進路実現ができた。</p> <p>・職業人講話、ジョブシャドウイング、インターンシップ、仕事のまなび場、ボランティア、夏活動等の活動を通して、自己理解を深めるとともに、将来への自覚を高めることができた。</p> <p>・ジョブシャドウイング発表会、夏活動発表会等を通して、学習成果の共有化を図った。</p> <p>・課題研究の成果発表時だけでなく、学校説明会においても生徒の発表などを取り入れることで、生徒が成果を実感する機会を持つことができた。</p>	<p>・「キャリア教育実践プログラム」に改善を加え、3年間を見通した未来探索の取組を充実させていく。</p> <p>・引き続き学習成果の発信、共有化を図っていく。</p> <p>・国内に対して海外研修旅行の準備が大変だった。</p> <p>・課題研究に向けての準備時間が不足した。</p> <p>・課題研究の中間発表、本発表を、資料を例示しながらほぼ全員が行うことができ学習成果を実感することができたと同時に、他の生徒の発表を聞くことで、成果の共有ができた。</p> <p>・進路未定者は2年連続で減少したが、全体に占める割合は20.6%であり、課題を残している。</p> <p>・進路先を決定しないまま卒業だけを考えている生徒の意識をどのようにすれば変えることができるかが今後の大きな課題である。</p> <p>・引き続き多様な体験学習の場を提供し、自己理解を深め、自尊感情を育成する取組を推進したい。</p> <p>・今後の課題研究に向けて、研究方法や発表の仕方を工夫する必要がある。</p> <p>・課題研究の成果発表時には多くの来賓を招くことで、生徒がより成果を実感できる良い機会となったが、さらに大きくこの輪を広げることで、地域との連携が一層深まることが期待できる。</p>	<p>(学校評議員会)</p> <p>・生徒の発表を見ていると、若いうちから実社会のことを考えた発表でとてもよかった。学校の外に出ていくことに効果が見られている。</p> <p>・ロータリークラブとしては、様々な業種の団体なので、青少年の育成に向けて支援できることも少なくはないと思う。学校の教育活動と連携していきたい。</p> <p>(学校評議員会)</p> <p>・総合学科の卒業生が専門学校に進学している。普通科卒業の生徒より意識が高い生徒もいるが、そうではない生徒もいる。個人差が大きい。ミスマッチに対応する様々な選択を用意するのが理想であろう。</p>	<p>・1年次の未来探索Ⅰでは、ジョブシャドウイングをより生徒のニーズに合わせ、改良を加えるなど進化させている。また、2年次の未来探索Ⅱでも3年次のプレ課題研究につながる取り組みを入れるなど工夫した。3年次の未来探索Ⅲでは、担当者会を丁寧に行い、足並みをそろえた指導になるように努めた。</p> <p>・キャリア形成支援グループと3年次団が連携をして、生徒の進路実現に努力した。その結果、就職内定数を増やし、進路未定者数を若干であるが減らすことができた。この数をさらに減らすためには、家庭の支援が欠かすことができないと考えている。</p> <p>・総合学科高校の柱であるキャリア教育（未来探索）の推進を一層図ることにより、進路実現に対する意識及び自己を律して課題に積極的に取組もうとする態度が少しずつ向上した。さらに充実するように取り組んでいく必要がある。</p> <p>・自らの意思を伝えるため、他者の意見をしっかりと受け止め、自分の考えに基づいて、行動できる生徒を育成するため、思考力、判断力、表現力の育成に努めていきたい。</p>
5	<p>地域とのより一層の連携を進め、開かれた学校づくりを行う。</p>	<p>・上級学校、事業所、福祉施設等の学校外の教育関連機関との連携の充実・発展に努める。</p> <p>・様々な機会をとらえて、地域貢献活動を積極的に取り組む。</p> <p>・本校の特色ある活動を、積極的に情報発信していく。</p>	<p>・外部との連携することで学習内容を深めることができたか。</p> <p>・地域での連携した活動をふやすことができたか、内容の充実化が図れたか。</p> <p>・本校公式 HP や学校説明会で、本校の特色について多くの中学生、保護者、地域の方に理解してもらうことができたか。</p>	<p>・夏季連携講座に68名が参加した（昨年度51名）他、教職員5名も講座の視察を兼ねて専門学校の見学会に参加した。</p> <p>・1年次の職業人講話では12名の社会人講師を招き、ジョブシャドウイングでは67事業所・施設との連携を行った。</p> <p>・高齢者施設やゆうづるでの現場実習を実施し、地域資源を活用した授業を行った。（健・福）</p> <p>・今年度も二度、部活動生徒による地域清掃を実施した。</p> <p>・年次の地域清掃活動では、近隣自治会向けの周知文書を配布し、地域の方の参加もあった。</p> <p>・インター同好会で、地域清掃に取り組んだ。</p> <p>・和太鼓部として、地域のお祭りや催しに招聘され、演奏を披露した。</p> <p>・健康福祉系列において、地域の有識者による授業を10コマ、18名の方々へお願いし実施した。</p> <p>・学校説明会を計4回、体験授業を1回実施し、合計1,023名（含：在県）の参加者に本校の教育の特色等について説明した。和太鼓部によるアトラクションを1回行った他、広報委員会生徒による司会を3回（昨年1回）、生徒によるプレゼンも2回（昨年1回）行い、好評だった。</p> <p>・HPに部活動活動状況をUPした他、各</p>	<p>・引き続き、上級学校や事業所等との交流・連携活動を周知し、参加を促す。</p> <p>・引き続き事業所・施設との連携を深めていく。</p> <p>・地域貢献の意義と、高校生の役割を理解させ、生徒の意識付けに努める。</p> <p>・更なる充実に向けて課題の整理を行う。</p> <p>・生徒の広報委員会活動をさらに活発にし、生徒による司会やプレゼンテーション、アトラクション等を充実・定着させていく必要がある。</p> <p>・学校要覧に掲載されている内容を可能</p>	<p>(学校評議員会)</p> <p>・ロータリークラブでは、青少年のリーダー性育成を目標に掲げている。そういった点で協力していきたい。</p> <p>・説明会等で学校の様子や教育活動を生徒が主体的に発表したことや、近隣の中学校の多くの生徒が、文化祭を見に来たことで、地域で人気の高い高校の一つになっている。</p> <p>・地域に愛される部活動を目指すことが大切。地域に貢献すれば、地域が逆に支援の手を差し伸べてくれる。</p>	<p>・学校を支援いただいている関係機関、関係者との連携を密接に行い、地域で信頼される教育機関であることの評価を、教育活動を通してより確かなものにしていく。</p> <p>・今年度の学校説明会では、生徒が司会を行い、部活のアトラクション、学習成果発表を行うなど、生徒の生の声を中学生・保護者に紹介できて好評であった。次年度も生徒の活躍する姿をより前面にだした説明会を実施したい。</p> <p>・和太鼓部が地域の各種催しにおける演奏に出演し、好評であった。また、インター同好会は地域清掃を行った。また、年間2回の部活生徒による地域清掃を実施した。今後も地域に愛される鶴見総合になるために、このような活動を継続、拡充していきたい。</p> <p>・今年も未来探索の授業や系列での授業で、地域の施設や人の応援をいただいた。特に、福祉関係の授業では大幅に地域の教育資源を活用させていただいた。大いに感謝している。次年度も引き続きの協力を期待している。</p>

				<p>種の学校行事・特色ある授業・部活動の実績等についてこまめに更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ行こう週間への参加者は 9 名から 15 名へと増加した。</li> </ul>	<p>な限りHPにUPし、部活動等のページも各部署に呼びかけを行い、更新を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語を母語としない人の学校へ行こう週間への参加については案内掲示等に配慮が必要である。</li> </ul>		
6	<p>より良い教育を行うため、体制整備を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故・不祥事防止に努め、地域から信頼される学校づくりを進める。</li> <li>・学校関係者評価や各種アンケート調査を学校経営に活用する。</li> <li>・ホームルームのあり方を検討し、年次指導の充実を図る。</li> <li>・業務の合理化、効率化に向けて検討し、実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故・不祥事の防止ができたか。</li> <li>・学校評議員会や各種アンケートを実施し、その結果を踏まえた将来構想を検討し、具体的な提言がなされたか。</li> <li>・職員間での情報共有化を進め、生徒理解、生徒支援に活用できたか。</li> <li>・業務の合理化、効率化が進んだか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績処理の作業マニュアルをその都度配布して説明している。</li> <li>・成績処理に関して事故防止点検を実施し、成績原簿の取り扱いについて検討した。</li> <li>・指定校推薦等に係る業務マニュアルを整備し、確実な事務処理・推薦選考等に努めた。</li> <li>・電子データ保存領域の階層化を系統立て、データ不備や混同による事故防止に寄与することができた。</li> <li>・学校評議員会で出された意見を、次年度以降のカリキュラム編成の議論の中で参考にした。</li> <li>・担任、副担任、年次団で情報の共有化ができ、生徒に対するバックアップ体制ができた。</li> <li>・学校行事への取組み、頭髪服装指導や進路指導など年次で計画的に内容を検討しながら実効あるものとして実施。</li> <li>・前期成績処理、推薦選考の日程・手順等に改善を加え、業務の重点化、効率化を図るとともに、事故防止に向けての体制整備を行った。</li> <li>・学期末の成績処理について効率的に行えるよう改善を検討し加えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績処理、各教科・系列の成績原簿の取扱いについては継続して検討していく。</li> <li>・引き続き職員間の共通理解のもと、確実な事務処理・推薦選考を行う。</li> <li>・電子データの保存活用に関して、さらなる効率化と事故防止の観点から、データのネーミングや活用に関して、一層の共通認識を持つようにしていく。</li> <li>・生徒のニーズや社会で求められる基本的な力を身に付けるための科目を適正に配置していく。</li> <li>・平成 28 年度からの次期中期目標策定に向け、より一層の生徒実態の把握に努めたい。</li> <li>・今後、より協力体制を強化していく。</li> <li>・年次会で生徒情報の共有化を確実に実施するとともに、年次団で意識を同じくすることで、効果的な指導ができた。</li> <li>・新たな前期成績処理、推薦選考の実施に向け、職員間の共通理解を深めていく。</li> <li>・来年度より、すべての系列科目が通年での単位認定となるようになり、成績処理は若干効率的になる。</li> </ul>	<p>(学校評議員会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA は、学校とコミュニケーションをとって、一致団結して、生徒の成長を支えていきたい。生徒一人一人に寄り添って、生徒の声をしっかりと聞いてもらいたい。</li> <li>・業務の省力化は大事なこと。教員のゆとりを生み出してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故・不祥事の防止に向けて、校内での研修会を行い、職員の注意喚起を行った。引き続き、次年度も事故・不祥事防止に努めていきたい。</li> <li>・学校評議員の皆様には、学校評議員会以外にも各種の学校行事に参加いただき、貴重なご意見を拝聴することができた。各業務担当グループの活動を検証・見直しをすることにより、教職員が快適な条件で教育活動を提供できるよう学校の教育活動の向上を推進していきたい。</li> <li>・遅刻・欠席の防止に対する手立てや組織的な取組みが次年度から始まるにあたり、有効な取組みとなるよう教職員の意識と行動を統一して推進していきたい。</li> <li>・業務の重点化により、業務の整理を進め、生徒に向かい合う時間確保に努めていきたい。次年度に向けて、成績処理の業務の見直しを行った。</li> </ul>